

## 大震災から2年たちましたが



## 復興は本当に進んでいるの？



東日本大震災から2年。新聞やテレビを見るとがれきが撤去され道路や水道や港の整備が進み被災地の復興が着々と進んでいるようだね。



そうでしょうか。3月9日の東京新聞によれば、被災者の住宅再建の方法は①山などを切り開いて造成した高台に集団移転する②現地で土地をかさ上げして再建する③自力再建できない被災者向けに賃貸の災害公営住宅を作るとあります。



いい方法だと思うけど。



いいえ。③で「自力再建できない被災者向け」と書いてあることに注意してください。

つまり①高台への移転も②現地での再建もすべて「自力再建」なのです。



ということは自分のお金で家を建てなくちゃいけないということ？



そうなんです。がれきの撤去や道路や水道や電気の整備が報道されているけれどあれはすべて公共の設備なのです。いくら復興が進んでも「自力再建」できない人はずっと仮設住宅に住み続けるか賃貸住宅に入るしかないんです。



そういえば、昨年阪神大震災から二十年たって公共賃貸住宅から追い出されるということが問題となっていたね。



その一方で東京電力には1兆円という莫大なお金が国から援助されています。被災地の人たちを激励するだけではなくこういうことをもっと問題にし声を上げていかなければいけないと思います。



ぼくも被災地への募金をしたけど、そういうお金は被災者の人たちのところへはいかないんだ。いったいどこへ行ったんだろう？

住宅資材が不足して高騰してるし、消費税が10%になったらもっと大変だ。うちは土地があったからましだけど、みんな金も借りられず家なんか建てらんね。大っきな会社ばっかだけでなく個人にも補助してくんねか。